

## 品質表示等に関するアンケート調査レポート

平成23年10月実施・12月1日作成

### 目次

I. はじめに	P2
1. この調査の狙い	P2
2. 実施方法	P2
3. 調査（質問）事項	P2,3
II. アンケート結果とコメント	P4
1. 回答者の階層別内訳について	P4
2. 購入時における品質表示の内容の確認状況に ついて	P5
3. 服種別に見た購入時における品質表示項目 ごとのウェイトの置き方について	P5, 6, 7, 8
4. 任意表示に対する確認について	P8
5. 購入時における品質表示の内容の確認、チェック の順位について	P9
6. 縫付けラベル、下げ札等による品質表示全般に 対する意見について	P10, 11
7. 購入時における原産国表示の確認と「日本製」 に対する関心の度合いについて	P11, 12

## 品質表示等に関するアンケート調査結果レポート

(平成23年12月1日作成)

### I. はじめに

#### 1. この調査の狙い

品質表示は繊維・衣料品とユーザー（消費者）をつなぐ上で不可欠の情報伝達媒体である。それ故供給者側がそれに投入するエネルギーは決して小さくない。それにもかかわらずこの「品質表示」が実際に消費者サイドにどのように理解され、受け入れられ、活用されているか。その実情は必ずしも明らかにされておらず、グレイボックスに閉ざされている。今回のアンケート調査は、このグレイな部分について明らかにし、少しでも関係者の参考にしていただく狙いから行われたものである。

#### 2. 実施方法

- 1) 当日本繊維検査協会が作成したアンケート調査表を協力者に配布して記入してもらう方法をとった。
- 2) 実施に際しては「東京都内の女子短大」の協力のもとに学生本人及びその縁故者に主体を置き、これらの人にアンケート表に記入してもらう形をとった。なお、このほか当協会職員及びその家族他から寄せられた回答分が一部含まれている。

#### 3. 調査（質問）事項

##### 1) 属性、年齢

次のように細分し該当するものに○印を付す方法で回答を記入してもらった。

①属性区分： A.無職女性 B.有職女性 C.学生（女子） D.その他

②年齢区分： A.20才以下 B.21才～40才 C.41才～60才  
D.61才以上

- 2) 購入時、品質表示（縫付けラベル、下げ札等）に目を通してお求めになりますか。

- ① 目を通しチェックしている
- ② 目を通して買う時もあるが、そうでない時もある
- ③ 品質表示は全く見ない

- 3) 服種別に見た場合、購入時における確認する品質表示の表示項目ごとのウェ

イトの置き方について

- (1) 服種別
  - A.婦人物3種類 B.紳士物3種類 C.子供・ベビー
- (2) 品質表示項目
  - A.組成表示 B.洗濯等取扱絵表示 C.サイズ D.原産国
- (3) ウェイトのおき方
  - A.必ず確認 B.一応確認 C.確認する時と確認しない時がある
  - D.全く確認しない
- 4) 任意表示（メリット表示、デメリット表示）についての所見
  - A.よく目を通し参考にして買う
  - B.ラベル等を見て判断することは少ない
  - C.ラベル等に目を通すことはまれ又ははない
- 5) 購入時チェック又は確認する表示項目の順位
  - (1) 表示項目ごとに第1位から第5位まで回答を付してもらう方法を採用
  - (2) 表示項目
    - A.組成繊維 B.洗濯等取扱絵表示 C.サイズ D.原産国
    - E.その他の付記表示（以上5項目）
- 6) 縫付けラベル、下げ札等品質表示全般に対する評価と意見
  - A.問題や不便を感じていない
  - B.問題点や改善してほしい点がある
    - ①表示が読みにくい、以下④項目を例示して該当するものに○印を付してもらうほか、例示以外の事項について個別に記入してもらう方式をとった。
- 7) 購入時における原産国表示の確認
  - 次の4区分に○印を付けてもらう方式をとった。
    - A.必ず確認する
    - B.一応確認する
    - C.確認する時と確認しない時がある
    - D.全く確認しない
- 8) 「購入時原産国表示の『日本製』を選ぶようにしているか」についての質問
  - (いずれかに○印を付けてもらう方式をとった)
    - A.なるべくそうしている
    - B.全くその様な習慣はない

次ページ以下にアンケート結果とコメントを掲載

## Ⅱ. アンケート結果とコメント

### 1. 回答者の階層別内訳について

- 1) 今回のアンケート調査に対する回答者（協力者の階層別内訳）は表1の通りです。アンケート表ではさらに細かな区分になっていますが、これをグループ1～グループ4にまとめたのが以下の表です。
- 2) 回答者の56%が女子学生です。このため全体集計では、その影響を強く受けている箇所があることを念頭においてごらんいただきたいと思います。まずこの点が第1。
- 3) それにもかかわらず、詳細にこの調査結果に目を通しますと、衣料品のサプライヤー側として改めて考えさせられる点が少なくありません。例えばこのグループ3（女子学生）に属する人の15%（53人中9人）が「日本製」をなるべく選ぶようにしている。などですが詳しくは各項目ごとの集計及びコメントに委ねさせていただきます。

表1. アンケート表回収数(階層別)

区 分		回答数	
グループ別	年齢・性別・属性等	人数	構成比
1	女性（無職）	23	17%
2	女性（有職）	26	20%
3	女子学生	74	56%
4	その他(男性含む)	10	7%
合 計		133	100%

※1. 年齢、性別、属性などはさらに細分されていますが、この表はそれを要約したものです。

※2. 女子学生は短期大学

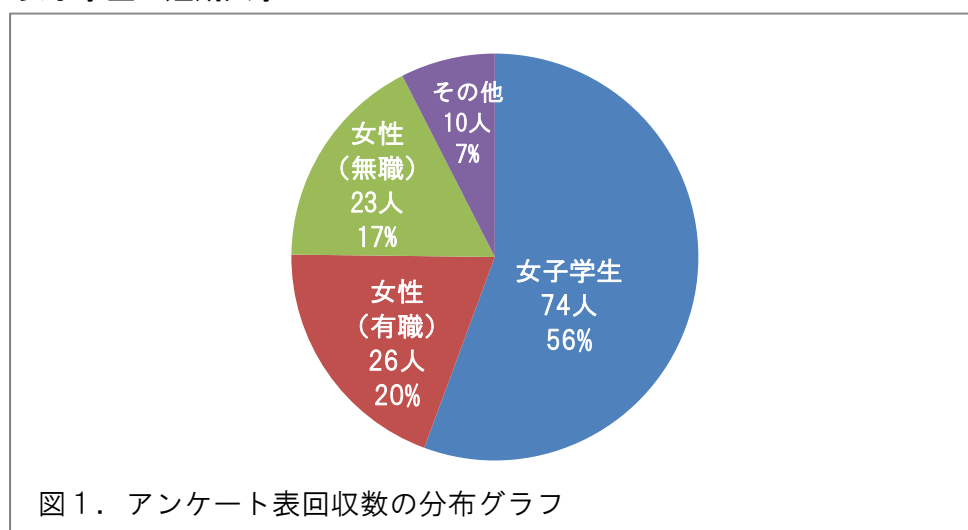


図1. アンケート表回収数の分布グラフ

## 2. 購入時における品質表示の内容の確認状況について

アンケート第2問の購入時における品質表示の確認状況に関する質問への回答をまとめたものが第2表です。

- 1) グループ1の無職の女性の48%、グループ2の有職の女性の58%が表示に目を通し確認しているのに対し、グループ3の女子学生の回答は23%でグループ1、グループ2に比べ著しく低いのが目立ちます。
- 2) さらにこのグループ3では品質表示は「全く見ない」という回答がなんと半数近い42%にも及んでいます。
- 3) 第4グループは男性が多く、回答数が少ないのであまり参考になりませんが、この数値はあるいは男性の表示に対する関心の低さを示しているかも知れません。

表2. 衣料品購入時における「品質表示」(法定表示)の縫付けラベル、下げ札等の内容の確認状況

購入時の確認状況	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	合計
(1)必要と思う事項には目を通しチェックしたうえで購入するようにしている	48%	58%	23%	33%	35%
(2)これらの品質表示を見て買う時もあるが見ないで買う時もある	48%	35%	34%	16%	36%
(3)品質表示は全く見ない	4%	7%	42%	50%	29%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

(注)グループ1:女性(無職) 回答数 23  
 グループ2:女性(有職) 回答数 26  
 グループ3:女性学生 回答数 73  
 グループ4:その他 男性含む 回答数 6 (合計 128)

## 3. 服種別に見た購入時における品質表示項目ごとのウェイトの置き方について

この結果においてはグループ1からグループ4ごとの区分集計によらず、それぞれの品種区分ごとに、組成繊維、洗濯等取扱絵表示、サイズ、原産国表示の4項目に対して、示す購入時の確認度合いをA. B. Cの三つに区分し、その分布状況を表3に揚げました。ごらんいただければわかりますようにA欄の数値が高いものほど、消費者のその表示項目に対する確認(関心)の度合いが高いことを示しています。

この結果ではサイズ表示の項目が各服種を通じて90%以上と高い数値を示しているの

は当然のこととして、原産国表示においてグループ3(学生女子)の数値 A(必ず確認して買う又は一応確認して買う)の回答が24人(※)と意外に多いなどの予想外の結果も見られます。

組成表示と取扱い絵表示は全服種のトータルとしては A 欄回答は50%~60%台ですが、組成表示では婦人物・コート類、及びシャツ、ブラウスと紳士物・コート、ズボン、セータ、シャツでは、その比率が70%と高く、また取扱い絵表示では、紳士物のコート、上衣、ズボン及び婦人物のセータ、シャツ、ブラウスで A 回答の数値が高いのが目立ちます。一見なんでもない数値の違いのように思われますが、詳細に検討しますとヒントになる点があるように思われます。ぜひ、この表3に目を通されることをお奨めします。

※この人数は集計表によるもので表3には記載されておられません。

表3. 服種別の購入時における品質表示項目の確認度

- (注)A. 必ず確認して買う又は一応確認する  
 B. 確認することもあるが確認しないこともある  
 C. 全く確認しない

(その1)紳士物の場合

数字はいずれも%です

服種区分		表示項目							
		組成繊維				洗濯等取扱い表示			
		A	B	C	計	A	B	C	計
紳士物	コート類、上衣、ズボンなど	70	20	10	100	68	18	13	100
	セータ、シャツなど	65	24	10	100	71	17	12	100
	下着、靴下類	55	30	15	100	47	27	26	100
	小計	61	27	11	100	62	26	12	100

服種区分		表示項目							
		サイズ				原産国			
		A	B	C	計	A	B	C	計
紳士物	コート類、上衣、ズボンなど	99	0	1	100	45	29	26	100
	セータ、シャツなど	99	0	1	100	41	33	26	100
	下着、靴下類	98	1	1	100	39	29	32	100
	小計	99	0	1	100	67	16	17	100

## (その2)婦人物の場合

数字はいずれも%です

服種区分		表示項目							
		組成繊維				洗濯等取扱表示			
		A	B	C	計	A	B	C	計
婦人物	コート類、上衣、ドレス、スカート、ズボンなど	70	21	9	100	59	12	29	100
	セータ、ブラウス、シャツなど	78	14	8	100	66	10	24	100
	下着、靴下類	53	40	7	100	52	24	24	100
	小計	74	11	15	100	61	19	19	100

服種区分		表示項目							
		サイズ				原産国			
		A	B	C	計	A	B	C	計
婦人物	コート類、上衣、ドレス、スカート、ズボンなど	93	5	2	100	65	24	11	100
	セータ、ブラウス、シャツなど	95	2	2	100	62	28	10	100
	下着、靴下類	97	0	3	100	49	33	18	100
	小計	95	0	5	100	61	21	18	100

## (その3)子供・ベビー物の場合

数字はいずれも%です

服種区分		表示項目							
		組成繊維				洗濯等取扱表示			
		A	B	C	計	A	B	C	計
子供、ベビー物	子供、ベビー物全般	64	24	11	100	61	19	19	100

服種区分		表示項目							
		サイズ				原産国			
		A	B	C	計	A	B	C	計
子供、ベビー物	子供、ベビー物全般	95	0	5	100	50	29	22	100

## (その4)3 服 種 の 合 計

数字はいずれも%です

3 服 種 の 合 計	表示項目							
	組成繊維				洗濯等取扱絵表示			
	A	B	C	計	A	B	C	計
	67	16	8	100	59	15	26	100

3 服 種 の 合 計	表示項目							
	サイズ				原産国			
	A	B	C	計	A	B	C	計
	96	3	1	100	79	14	7	100

## 4. 任意表示（デメリット表示、メリット表示など）に対する評価

これに関しての、その調査結果は表4の通りで、A.よく目を通し参考にする場合が多い、が33%、B.ラベルのうたい文句を見てその商品を買うかどうかの判断をすることは少ない、が33%、C.これらに目を通すことは少ない又はない、が32%で A.B.C の回答がそれぞれ三分しています。ただし B と C はいずれもこれらの任意表示には関心がない、と受け取っても差し支えないものと思われま

す。せつかく、供給者側が熱心にアピールしようと思っても消費者側の反応がこのアンケート結果に見られるようなものとすれば任意表示についてはもう一工夫、二工夫が必要だと言えそうです。

表4. 任意表示に対する評価

評価の区分	回答数	構成比
A. よく目を通し、参考にして買う場合が多い	42	33%
B. ラベル等のうたい文句を見て、その商品を買うかどうかの判断をすることは少ない	41	33%
C. 購入時にこれらのラベルに目を通すことは少ない又はない	40	32%
回答なし	13	2%
合 計	126	100%



5. 購入時に商品に付されている品質表示項目ごとに確認、チェックする順位について

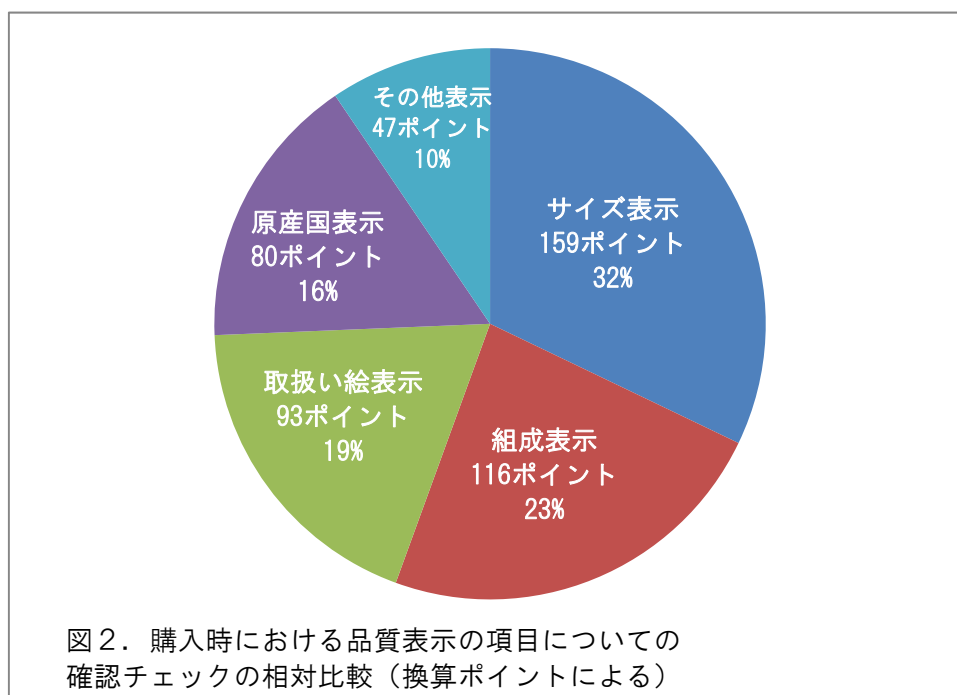
この質問に対する回答は表5の通りです。

サイズは第1位、第2位と圧倒的に上位を占めていること、さらにまた組成表示を第1位、第2位にあげるものが、これに次いで多いことは当然のこととして理解できますが洗濯等取扱絵方法（絵表示）の順位が予想を下回っているのはやや意外です。あえて言えば回答者の中で女子大学生が多いことが影響しているためでしょうか。この欄の集計では階層別集計が省かれていますが今後もっと階層別に分析する必要があるようです。

表5. 購入時における品質表示項目についての確認のチェックの順位

回答順位	表示項目区分				
	組成表示	取扱 絵表示	サイズ	原産国	その他 任意表示
1位	5		28	1	
2位	12	12	4	4	
3位	12	9	1	11	
4位	2	7		9	14
5位	3	4		8	19
合計	34	32	33	33	33
換算 評価点数	116	93	159	80	47

※換算評価点数は1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点と評価した点数の合計



## 6. 縫付けラベル、下げ札等による品質表示全般に対する意見について

この質問に対する回答は表6の通りです。

回答は A.現状について特に問題や不便は感じていない。B.問題点を改善してほしいところがある。C.その他自由に記入いただく欄を設けました。

これをまとめましたのが表6です。それを見ますと、全体としては6割近くの59%がA欄に回答されていますが、これはグループ3(女子学生)の回答が65%と高い比率になっている影響が大きく、その他の階層では、B.問題点や改善してほしいところがある、の回答が40%~60%を上回る高い比率を示しています。その内訳は、a.表示が読みにくい(文字が小さい、うすい) b.縫付けラベルの表示が洗濯等で読みにくくなる、のウェイトが高率ですが、「輸入商品で国内の表示と違うものがある」という指摘も全体を通しては5件、又例示事項に○印を付してもらう形ではなく、自由に回答を記入してもらう欄を設けましたが、これに対しては9件の記入回答がありました。これについては詳しくは表6欄外をごらんいただきたいのですが、注意しなければならないのは、縫付けラベルの表示と下げ札の表示の内容が違うものがあるという回答が3件もあった点です。この欄外の記入内容については、ぜひ目を通されることをお奨めします。

表6. 縫付けラベル、下げ札等品質表示全般に対する意見

注1. 重複回答あり 注2. 自由記入欄外参照

質問事項	回答者区分				
	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	全体
A.現状について特に問題や不便は感じていない	9件 33%	17件 59%	53件 69%	6件 12%	85件 59%
B.問題点や改善してほしいところがある	18件 67%	12件 41%	22件 31%	6件 20%	58件 40%
a 表示が読みにくい(文字が小さい、うすい)	6件	2件	9件	2件	19件
b 縫付けラベルの文字等が洗濯などで見えにくくなるものがある	3件	3件	9件	2件	17件
c 輸入商品で国内の表示と違うものがある	2件	1件	2件	0件	5件
d 任意表示の中に余り良く理解できないものがある	2件	2件	1件	0件	5件
e その他自由記入事項欄記入	※5件	※4件	※1件	※2件	※12件
総計(A+B)	27件	29件	75件	12件	143件

- ※1. 肌に触れ痛いので切り取ることがある。
- ※2. サイズのS・M・LとわかれていないFのものがあり困る。Fでは大き過ぎる。
- ※3. 絵表示の意味がわからないものがあった。
- ※4. 過保護すぎる表示がある(夏物で水洗いできない表示など)
- ※5. 縫付けラベルと下げ札の表示内容が違うものがあった…3件
- ※6. 表示者名が読みづらいものがある。
- ※7. 物によって表示ラベル(縫付け)が大き過ぎ切り取らなければならないものがある。
- ※8. 色落ちするものはもっとはっきり注意表示してほしい(子供が洗濯機に入れるときもある)
- ※9. 任意表示(付ラベル)の表示についてクリーニング店で相談しても、店の人も分からないものもあった。

## 7. 購入時における原産国表示の確認と「日本製」に対する関心の度合いについて

まず表7と併せて表8をごらん願います。なおこれについては皆さんもおそらく階層別の仕分けに関心があるのではないかと考えグループ1～グループ4に至る階層別集計を行いました。

### 1) 原産国表示の確認

A. 必ず確認する及び一応確認する、がグループ3(女子学生)を除いては、60～70%を占めています。グループ3は予測通りその比率はそれほど高くはありませんが、それでも20%近くに達しています。

### 2) 購入時における「日本製」製品を選択する度合いについて

これに対する回答は、ほぼ上欄の回答から推定されますが全体を通しては37%の人が、グループ1では実に65%の人が日本製を選ぶと回答しています。(表8)グループ3がどんな回答をするかに関心がありましたが、女子学生層においても15%がなるべく「日本製」を選ぶと回答しています。この回答は今回の東日本大震災で、おそらくさらに高まっているように思われます。供給者側としても国産品離れに対して手をこまねているばかりでなく、タオル業者の例にみられるようにもっと積極的なアプローチが必要でしょう。

表7. 購入時における原産国表示の確認について

(注)件数、( )内は%

購入時の原産国表示の確認区分	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	合計
A) 必ず確認する	7 (35)	4 (21)	3 (4)	5 (50)	19 (16)
B) 一応確認する	6 (30)	7 (37)	10 (15)	3 (30)	26 (22)
C) 確認することもあるししないこともある	6 (30)	7 (37)	35 (51)	2 (20)	50 (43)
D) 全く確認しない	1 (5)	1 (5)	20 (30)	0 —	22 (19)
合 計	20 (100)	19 (100)	68 (100)	10 (100)	117 (100)

表8. 「日本製」製品の選択の度合い（購入時なるべく「日本製」製品を選ぶ）について  
 (注)件数、( )内は%

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	合計
A) なるべく日本製を選ぶ	13 (65)	12 (44)	9 (15)	3 (30)	37 (31)
B) 全くそのような習慣はない	7 (35)	15 (56)	53 (85)	7 (70)	82 (69)
合 計	20 (100)	27 (100)	62 (100)	10 (100)	119 (100)

以 上

〈ご協力いただきました方々に心よりお礼申し上げます。〉